

赤十字の活動にご支援を



日本赤十字社の沖縄県支部西原町赤十字奉仕団（儀間信子委員長）の出発式が、5月9日に西原町民陸上競技場の駐車場で行われました。

日本赤十字社は社資を財源とし、国境・宗教・人種を超えた幅広い人道的支援に取り組んでいます。5月は「赤十字社員増強運動」月間となっていました。

儀間委員長は「1軒1軒たずねて協力いただくことが多くの人への助けになりますので、がんばりましょう」と団員に呼びかけました。

人材育成支援 ～展示即売会～

NPO法人西原町人づくり支援の会（新川武雄理事長）が主催する「第18回チャリティー展示即売会」が4月17日から3日間、サンエー西原シティで開催されました。

展示会には陶芸やガラス、書道、絵画、手工芸品、写真など、展示即売会に賛同した方からの数多くの作品が揃いました。

新川理事長は「チャリティーを通して、将来各分野で活躍する人材の育成につなげていきたい」と抱負を述べました。



買い物客でにぎわう展示会

ブラジルに渡った移民の調査

ブラジル移住した沖縄県民の調査をしている赤嶺園子さん（西原町出身、ブラジル在）さんが4月27日に上間町長を訪問しました。赤嶺さんは南米各地や沖縄で、日系2世や3世にも取材するなど、幅広く調査を行っています。調査結果をまとめた著書「笠戸丸移民 未来へ継ぐ裔孫」は、西原町立図書館に配架されています。

町長を訪問した同日には、琉球大学にて「ブラジル移住と日系社会」というテーマの講演会を行いました。



西原町役場を訪れた赤嶺さん（写真中央）

長年の活動に感謝

4月22日に、行政相談委員として4期8年（平成19年4月から平成27年3月）努めた大城恵子さん（写真中央）に対し、沖縄行政評価事務所の山田昌二所長から感謝状が贈呈されました。

感謝状の贈呈を受け、大城さんは「町民の相談に、中立公正の立場で折り合いをつけるのが難しかった。また他の市町村と連携を図ることができた」と委員活動を振り返りました。

山田所長は「大城さんには町民と行政のかけはしとして頑張っていた」と感謝の意を表しました。



西原台団地にコミュニティー助成

（一財）自治総合センターが行う宝くじ普及広報事業の「平成27年度コミュニティー助成事業」の助成団体に、西原台団地自治会（波平常則会長、写真右）が決定しました。4月24日には西原町役場で決定通知式が行われ、上間町長から決定通知書を渡されました。

波平会長は「自治会結成以来、自治会事務所の建設は長年の懸案事項でした。建設を地域活性化、そして町の活性化につなげたい」と決意を語りました。



きらきらビーチで海びらき

4月25日に西原きらきらビーチの海びらきイベント（指定管理者 ㈱クリード沖縄主催）が、開催されました。

海びらきを宣言するテープカットが行われると、海びらきを心待ちにしていた子どもたちを中心に多くの方が初泳ぎを楽しみました。



新1年生への贈り物

西原町内の3児童館で活動するファミリークラブ会員の母親たちが、町立4小学校の新1年生の児童のために手作りのお守り（377個）を作成しプレゼントしました。お守りは子どもたちの健全育成と交通安全を祈願したもので、子どもたちが「無事におうちへ帰ってくる」ことを願って、カエルのイラストがデザインされています。



坂田小のようす



鯉のぼりと子どもたちの笑顔

鯉のぼり掲揚式（(福)西原町社会福祉協議会主催、新川善昭会長）が、4月23日に西原町中央公民館駐車場で開催されました。

同式には、坂田保育所、さうんど、西原、愛和、我謝、さくらぼ保育園、西原南幼稚園と海星学園の園児が参加。優雅に大空を泳ぐ鯉のぼりのようすを見る子どもたちの表情は、とても晴れやかでした。

子どもたちのかわいいダンスも行われ、会場は優しい雰囲気でもみ込まれていました。



楽しくダンスをする子どもたち

池原くん、梅の香りで大賞を受賞

字小那覇出身の作曲家、新川嘉徳氏の代表作「梅の香り」を披露する「第13回梅の香りうた遊び大会（「梅の香り」歌碑建立記念事業委員会・小那覇自治会主催）」が、4月25日に小那覇児童公園で開催されました。

今大会には14名の歌手が出演し、日ごろの練習の成

果を披露しました。厳正なる審査の結果、池原輝飛くん（坂田小6年）が大会史上最年少で大賞を受賞。池原くんは「緊張したけど、楽しく練習どおりに歌うことができた。大賞を受賞することができて嬉しい」と語り、ひととき大きな喜びを表していました。



堂々と歌う池原くん



出場者のみなさん